特定非営利活動法人（NPO法人）

だいすきがつながっている。だいすきがつながっていく。だいすきをつなげていく。

日本セラプレイ協会

Japan Theraplay® Alliance Since 2014~ The Theraplay ® Institute 国際本部公認

2021年 9月
ニュースレター 第9号

連絡先: info@theraplay.or.jp
公式HP: http://theraplay.or.jp
センターHP: http://theraplay.jp
Facebook: 日本セラプレイ協会

協会 ロゴ

＜写真1＞

残暑もようやく和らぎましたが、いかがお過ごしでしょうか。コロナ禍の東京五輪2020も閉会し、一日も早く落ち着いた日々が過ごせるように祈るばかりです。当協会は、2月に理事の高井が完全帰国し、協会の目的である子どもや家族の心身の健康を応援する非営利団体としての活動が再開しています。3月からは心理・福祉・教育関係者だけでなく、一般企業の方たちとの新たな繋がりにより、より大人一人一人が社会の一員として、子どもを応援する活動（オンライン交流やコロナ禍物資の支援）が始まりました。これからも学び合いながら子ども達が安心できる環境を守るためみんなで大好きをつなげましょう。

セラプレイ（Theraplay®）とは… https://theraplay.org

1967年に米国シカゴで、ヘッドスタートプログラムの1つとして採択され、その後心理療法・教育方法の一つとして現在も、セラプレイ国際本部（The Theraplay® Institute）を中心に、フィンランド、カナダ、ドイツ、韓国など60余ヶ国において、精神保健や教育や福祉など様々な領域で実践されています。初期の母子関係における親密で温かい健康的なやりとりに着目し、心地よいスキンシップや、楽しさあふれる遊びを通した関わり（遊び）が特徴です。

セラプレイは、対象関係理論（Winnicott）/自己心理学（Kohut）/愛着理論（Bowlby）を背景に,人間関係における基本的なニーズを大切に考え,子どもの健全な成長発達に不可欠である愛着関係の下に「今、ここで」を具体的に体験します。それは子どもが自分自身や相手,また外の世界に対して肯定的なイメージを持つことを助けます。セラプレイを通して「私は愛される価値のある大切な存在なのだ」という事を実感し,他人や外の世界は安全で信頼できるものだと言う事を学びます。最近では、脳科学の研究の発展（ポリヴェーガル理論など）により,セラプレイがなぜ効果的なのかが科学的にも明らかになってきています。

子どもと家族の相談室 セラプレイ カウンセリング センター東京 開所のご連絡（世田谷代田・新代田駅）

理事高井美和が吉祥寺（2012）に開業し、下北沢（2014）へ移転後、2016年に一時休所していたセンターは、今年5月1日に小田急小田原線「世田谷代田」と京王 井の頭線「新代田」駅に近い場所に再OPENしました。オープン直後、卒業生が遊びに来てくれて「待ってたよ！もー遅かったなー」とか、帰りに「ママ、今度は私一人で来るからね」なんて数年前にママと手を繋いできていた子たちが、ママの背を超え成長した元気な姿を見せてくれました。コロナ禍で大変な時期に、いろいろな場所で大変な想いや苦しいこと、そして楽しい事もいろんなことがあったようです。それを乗り越えたり、今まさにその渦中で頑張っていてる話を聞き、改めて子ども達そしてご両親を心より尊敬しました。セラプレイでつながった私たちは、いつも離れていても応援しているよ、でももうこれからはここにいるよ！という想いで、コロナ後の再会を約束しました。センターではコロナ対策をしつつ、絵画や箱庭など自分の気持ちに気づく時間や、オンラインでの発達・子育て相談、セラプレイの遊び紹介面接など、遠くの方のニーズにもお応えできる機会として取り組んでおります。SVやコンサルテーションもオンラインで実施してます。

セラプレイは、米国及び日本で商標登録を取得しています。商標登録番号 5580504号 特定非営利活動法人(NPO)日本セラプレイ協会
Copyright © The Theraplay® Institute All Rights Reserved. （セラプレイ国際本部 1840 Oak Ave., Suite 320, Evanston, IL 60201）

だいすきをつなげるサロン

- 私たちは大切な事を伝え続けていく事を止めてはいけません -

毎月第１日曜日 20時~オンライン

オンラインサロンとは、協会会員のための限定コミュニティーです。当協会にご賛同頂いた会員の方はどなたでもご参加いただけます。コミュニティ型オンラインサロンは、共通の夢や目標、趣味などを持つ仲間が集まって交流するものであり、当協会では「だいすきをつなげるサロン」と名付け、一般企業の会社員の方から、主には子ども～高齢者やその家族に関わる現場にいる方など、多職種の方が会員としていらっしゃいます。そこでは、互いに現場で起きている現象（気づき・歓び・疑問・悩み・不安・問題など）をシェアし理解を深める場として、学びの動機に繋げいずれは外の世界にも“大好きを繋げられる”人を増やしていく事を目指します。

会員制にしている点は、職種や意見が異なれど、未来の日本の子どもと家族が安心して暮らせることを目指す目標を共有し、信頼できる仲間と共に話ができる場を大切にしたいからです。コロナ禍でなかなか直接的な出会いの少ない中で、毎月顔を合わせて話をする場所、ふと心に引っかかっていた事をちょっと話せる場所としてもあたたかい雰囲気のメンバーがお迎えします。この大好きをつなげるサロンは、シェアの場であり、深い勉強の場は、「子どもの眼で実践探求　導入編」や、「セラプレイ初級講座」「SV」などSTUDYの時間を別に設けています。

「子どもの眼で実践探求　導入編」では、それぞれの現場の生の声に耳を傾け、今何が起きているのか、当事者の眼にはどう映っているのか、何をすべきか、すべきでないか等を話し合い、結果ではなくプロセスを大切にします。この勉強会に参加している会員たちがサロンの中にいることで、自分の物事の捉え方、考える視点に気づき、問題は問題なのかの原点に返り、学んでいく動機となるような時間になっていきます。サロンは、少しずつ皆で成長していく事が出来る入り口です。当協会は、日本の子どもと家族のために子どもの視点・家族の視点を大切にし、その考えを広めていく事を目的としています。

＜写真2＞

第4回 進歩の場 シンポジウム

「子どもはどこに行ったら安全なのか」　　高井　美和

2021.08.22

今年は子どもも大人もみんなで一歩を踏み出す機会「進歩の場」としてシンポジウムを開催しました。今回の焦点は、セラプレイ講座に参加した先生からの紹介で、2013年から私たちがセラプレイ（遊びを使った心理療法）を通して繋がった養護施設で養育され、このコロナ禍で社会に出たばかりの私のだいすきな少年・少女の今を生きる姿です。

そして進歩の場には、子ども達のために支援をしてくださっている株式会社東海道シグマ 教育事業部（県委託の社会的養護支援事業受託企業）の荻原睦さんや、当協会顧問の精神科医 川畑友二先生をはじめ、児童家庭支援センターの心理士さんや、養護施設や里親さんとしてのお立場をお持ちの先生、また会社員の方などなど、様々な領域から２２名の方々がご参加くださいました。当事者である子ども達にも「進歩の場」の話はしていますが、今回は参加を見合わせました。

説明　写真1.　「18歳が社会的養護下から外されるタイムリミット、働かないなら一時保護所に行くしかない」と言われ、1歳半で別れた一緒に暮らしたことのない母親を頼りに会社の寮を飛び出した。新幹線に初めて乗って訪問したが、数日後には行き場を失う。退職した会社のご厚意で寮に戻れた翌日がタイムリミットの誕生日。再度一時保護所に連れて行かれるのではないかと、恐怖に震えた彼女はカーテンを閉め切って一人で部屋にいた。3月から連絡を再開して2か月後、初めて私たちは急遽会社の寮を訪問し、誕生日をささやかに祝った。訪問後に東京へ向かうトンネルの中で撮った写真。その日の夜に子どもとシェアし、トンネルの中でも必ず光は見えるよね、と話し合った。数週間後、元いた児童養護施設で今も生活をしている年下の友人に「私もトンネルの中に座り込んだり立ち竦んだりしているよ、でもね、トンネルの先には、美和ちゃんが待ってるよ、だから頑張ろう。」と、励ます声をかけていた。

写真２.　養護施設中途退所→里親委託・高校卒業→就職・一人暮らしへ。朝3時起きの仕事に意気込みやる気で満ち溢れていたが、コロナ禍で1か月で職場を離れてしまう。関係性が上手く取れず一人で何とかしようと、高額バイトと夜中のバイトを探した。おいしい話は危険が伴うもので結果騙されることに…。ある日の夜中、「万引きをしてしまいました。身元引受人…美和ちゃんしか頼る人がいないから来てくれませんか」と高井にラインが入る。警察から施設・里親・職場から断られて身元引受人がいないと電話があり、東京から向かう。警察での手続きの後、万引きをした24時間のスーパーへの謝罪、返金…。朝を迎え…「美和ちゃん、なんで怒らないの？」「一つだけわがまま言っていい？海見に行きたい。」今まで一度も私に頼み事などしたことのない彼からの初めてのお願い。二人で見た海。一生忘れない。「こういうことが母親がいるって言う事なのかな…俺、わかんないからさ」ー　二人とも、頼ってくれてありがとう。

セラプレイは、米国及び日本で商標登録を取得しています。商標登録番号　5580504号　特定非営利活動法人(NPO)日本セラプレイ協会
Copyright © The Theraplay® Institute All Rights Reserved.（セラプレイ国際本部　1840 Oak Ave., Suite 320, Evanston, IL 60201）

子どもたちの背景と出会い：

子ども達の育った養護施設とは、様々な事情で家庭で暮らすことが困難な子ども達が、職員と共に生活をしている場です。子ども達との出会いは、被虐待児童処遇向上プログラムの一環として1年間の約束で 8年前に 週に1度、セラプレイという30分から始まりました。それは、職員と子どもの信頼関係向上を目指すものでした。子ども・担当職員・セラピストの3人のセッションは録画され、子どもが寝た後に映像を元に担当職員とセラピストは深夜まで話し合いました。家庭にそれぞれの教育方針があるように、施設にも教育方針や躾の方法が独自に存在します。その中で今、目の前にいる子どもとの「誤解」を「相互理解」に変えるべく7年間訪問は継続しました。中高生になった子どもが参加できるようにと夜　勉強・料理・夜食の会を開き、形を変えてできる限り多くの子どもと月に1度顔をあわせる機会を設けました。2年前から様々な事情とコロナ禍が重なり、直接訪問は無くなり連絡は途絶えてしまいました。ー彼らとの再会から今までのSTORYは別の形でまとめます。今回のシンポジウムはここで終わりではありません。次回は2月です。

進歩の場 シンポジウム 参加者の皆さまからの感想：

- 「家族と共にいることは、共に過ごすことで良い面も悪い面も様々な事を身に付けて行く。養護施設に居ながら、同じような体験をさせ、教えていく必要があるだろう。圧倒的に家庭よりも経験値が低い施設という状態の中で、何をどうやって教えていくのか、社会の一員として円滑に過ごせるようにするために、必要な事は何か、今後の課題であろう。」
- 「いろいろな人がいろいろな形でつながる「力」を感じた。“だいすき”とは人を繋げていくときの1つの重要な要素であろう。どんな障害があっても乗り越えられると思えるほど人と人とを繋げていく姿が素晴らしい。」
- 「人として愛されているという事を実感するというのは、家族間であっても容易な事ではない。今日の子ども達は命スレスレに生きていかなくてはならない。その中でSOSの声を高井先生に投げかけることができた彼らを誇りに思う。」
- 「生きる力を最も身につけさせなければならない養護施設の子どもに対し、施設の中で生きる力どころか自分の存在すら否定されている状況を生み出してはいないか。子どもを“育てる”視点ー子どもの眼で世界を見ることの必要性を感じる。」
- 「発表が細部に渡り、子どもの生の声で作られており、実際にその子どもたちの関係者の一員になったような錯覚を感じるほどだった。セラプレイを通じて、幼いころに高井先生と短期間で信頼関係を構築できたと聞き、私の勤めている現場でも、スタッフ全員が子どもと一緒にセラプレイに参加できるような場を作れたら、どんなに良いだろうと改めて思うようになった。」
- 「継続的、具体的な事例を聞くことができ、子どもにとって、自分のことに一生懸命になってくれる人。しつこく詳細に踏み込んでくれる人。受け止めながらも笑い飛ばしてくれる人。自分のことで心を（ポジティブに）動かしてくれる人の存在は大きいなと思った。荻原さんにとても感動した。」
- 「怒るのではなく、叱ってくれる人の温かさみたいなものを感じとった子どもは、ベースにセラプレイの体験があったからこそなのではないかと思った。」

荻原さんへの感謝の言葉：

子どもに対して常に“一人の人格”として関わり、彼らを守るために私を信頼し連携して下さりありがとうございます。子ども達の傍で忍耐強く待ち続け、情報共有と連携の力で命の危機から子どもを遠ざける事ができました。荻原さんが水面下でどれほど迅速に的確に手続きをして下さったか、想像できないほどのご尽力です。「就活支援」という子どもにとっては最近出会った大人が、ここまで親身になって支えて下さった事は、社会に初めて出た子ども達にとって「外の世界に信頼できる人がいる」と心から実感できた最初の人だと思います。「荻原さんがいなかったら、今の僕はいない」子どもの言葉がその価値を表しています。

セラプレイは、米国及び日本で商標登録を取得しています。商標登録番号　5580504号　特定非営利活動法人(NPO)日本セラプレイ協会
Copyright © The Theraplay® Institute All Rights Reserved.（セラプレイ国際本部　1840 Oak Ave., Suite 320, Evanston, IL 60201）

子どもの眼で実践探求導入編　シンポジウム

第１部　音楽チーム　　土井信子　記

<打楽器：トーンタング ピアノ ウッドブロック カバサ カエルギロ>

4月から月に1回、計4回と短い時間でしたが、4回の体験を言葉にすることからシンポジウムの準備が始まりました。みんなの中で印象的だった話は、「伴奏者として、音楽療法を継続してきた高齢者施設で、もう一日訪問日を増やしてほしいという依頼があり、その際リーダーが、「私なんかでいいんですか？」と答えたことに違和感を覚えた」という話を主題に話し合ったことでした。

自分自身が何を感じ何を語り、それぞれ相手の言葉に耳を傾け、どのような思いを巡らせたのか。「批判・評価・判断をしない」というワークの中で、速度を調整しながら、意味のある質問が間に入ることにより、今まで自分だけでは見えなかった視点の拡がりや、物事を捉えている角度の違いが明らかになり、話し手（当事者）の違和感の真相に迫っていく体験でした。

「カエルのおしゃべり会」と題しての演奏は、一人一人の声、ピアノ、打楽器を用いて音楽チームのワークで何か起きたのか、自己主張しながらも共に学び合うそれぞれの存在の大切さや、面白さ、心地よさ、楽しさなどを皆さまに少しでも感じていただけたらと表現しました。なかなか当日電波の関係で思うように発表が出来ませんでしたが次回は工夫をしていきたいと思っています。

参加者の感想より

「音楽チームの先生方が演奏しておられる様子を見て、まさに、個々、個性の尊重と融合だー！、と感じました。同じ曲でも演奏する人それぞれの個性で違う音が出るからこそ、面白いものが出来上がる、という感じでした。他職種間で個々の専門性が対立せずに融合して面白くなっていけば良いなと思いました。」

シンポジウム　第１部　福祉チーム　　川上真樹　記

福祉チームの先生たちの「子どもの眼で世界を見る実践探求 導入編 前期」の体験を言葉で共有し、さらに深化させました。

【このワークで感じたこと・学んだ事】

- 見る人が違うと違うストーリーになる。
- 聞く人が違うと、また違うストーリーになる。
- 書く人が違うと、これまた違うストーリーになる。
- 自分が見ている何かは、それが「事実」ではなく、「自分が見ている事実」ということを常に意識しておかないといけない。他の人からは聞いたことは、「その人が見た事実」であることも、意識しておかないといけない。

【子どもとの関わりの中で】

- 自分の質問が話の主旨、流れを決める。
- 自分のリアクション、返答が子どもの感情を動かす。
- 自分のコミュニケーションスタイルが関係性を作る。
- どれ程自分というバイアスが掛かるのかを意識する。
- 自分抜きに子どもの眼に忠実になるには鍛練が必要。
- 「自分」が解ってないと、自分をく事もできない。

【感じたこと】 皆さんについていくのに必死でした。自由度のある質問に戸惑い、正解はどこにあるのかしらと考えすぎる感じが自分にあることに気づきました。まだまだ感性が鈍いんだなという課題も見え鍛えられるワークだと思いました。

【 児童心理治療施設で働く上で思うこと】振り返ると、子どもの言葉を理解するに至っていなかったことが多々あったなと、今まで関わった子どもたちの顔が浮かんで、ごめんねという思いがしました。現場の職員から聞いた情報で子どもを理解し、判断し、対応を決めるのは強引だと気づきました。自分で直接声を聞くこともしないと、フィルターを複数通って歪んで限定された情報になっていて、元々の声とは違うんだということ、それが誰かのせいではなくて、誰かの偏りではなくて、当たり前に起こることなんですね。職員づてに聞いた話で決めることを当たり前にしてきたという反省とともに、子どもに関わる上で、この当たり前に気づいて受け入れていることは、まったく関わり方を変えると思いました。

セラプレイは、米国及び日本で商標登録を取得しています。商標登録番号　5580504号　特定非営利活動法人(NPO)日本セラプレイ協会
Copyright © The Theraplay® Institute All Rights Reserved.（セラプレイ国際本部　1840 Oak Ave., Suite 320, Evanston, IL 60201）

参加者の感想より

「国民性なのか解らないですが、比較的、日本人は、違いを楽しむということが下手だなと思いました。勉強会やシンポジウムで、それぞれで意見を楽しみながらシェアしている協会の皆様を見て、普段の生活の中で、この感覚はあまりないなと思いました。協調性や、輪のまとまり、献身さ、礼儀正しさが大切にされているので、違いや多様性を面白がることや違う側の事に関心を向ける事に慣れていないと思います。」

だいすきをつなげる支援 実施中

養護施設退所少年少女をはじめ、だいすきをつなげる支援をさせて頂いております。皆さまのご支援・ご協力をお願いいたします。

- セラプレイ実践事業・日本版セラプレイ開発・育成事業など
- 施設を巣立つ子どもの自立応援場・頼れる場事業
- 里親支援事業　（施設・乳児院から里親へ親子の関係改善 里親専門支援員教育・里親支援NPOとのコラボ）

事務・運営などに対するご意見も是非お寄せください。助成金の申請や事務所の確保等のため、今後積極的に関わることが出来るボランティアも募集しております。ネット環境がある方であれば、どなたでもご連絡いただけますようお願い致します。

連絡先　　Eメール:　info@theraplay.or.jp

日本セラプレイ協会・カウンセリングセンター東京の紹介リーフレットを作成しております。PDFもございます。必要な方はメールでお申し出ください。

認定NPO法人　サービスグラント　プロボノ　GRANTのプロジェクトでの繋がり

サービスグラントさんとの出会いは、2016年にさかのぼります。代表 嵯峨さんが私たちの小さなNPOを、「SMFGプロボノプロジェクト」として三井住友フィナンシャルグループの社員有志のみなさまに繋げて下さり、事務ツールの開発などの支援を受けました。（そのご縁で、当時のプロジェクトリーダーを務めて下さった山竹さんは、その後も協会の心配をして下さり、今年度より正式に協会のアドバイザーとしてお力を貸していただく事となりました。先日のサロンにご登場くださいました！）今回は当時のプロジェクトよりも短く、ネット上で気楽にマッチングができるシステムGRANTを利用し、短期プロジェクトに参加しました。

私たちは、2020年12月～3月までオンラインでホームページの構成の見直しをしていただきました。それぞれ違う企業にお勤めの4名の方が支援に携って下さり、根本的な協会の趣旨や目的の理解から、見せ方のアドバイス、技術面に至るまでご支援を賜りました。私たちだけでは、到底気づかない様々な基本的な事を教えて頂き、まだまだ、未熟なため未完成ではありますが、今後ともご指導いただいたことを生かしていければと思います。ありがとうございました。

『サービスグラントは、仕事で培った経験やスキルをいかした社会貢献活動「プロボノ」への参加を希望するビジネスパーソン・クリエイターと、そのサポートを求めるソーシャルセクター(NPO・地域活動団体等)とをつなぐコーディネート役を担っています。（HPより）』

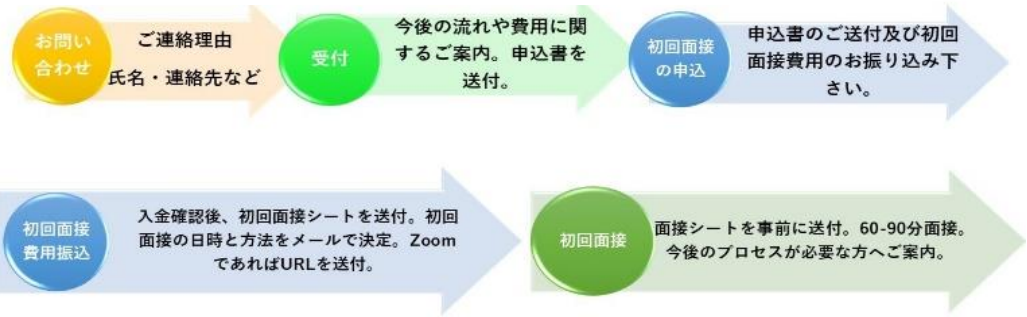
サービスグラント　GRANT　HP
https://grant.community/servicegrant

セラプレイ カウンセリング センター東京　　受付・申込方法

1. センターでのカウンセリング・セッション　セラプレイのSVや訓練
2. コンサルテーション
3. 職場・家族関係の相談など

※ オンライン　/　センター訪問　両方実施しております。

連絡先:
info@theraplay.jp



セラプレイは、米国及び日本で商標登録を取得しています。商標登録番号　5580504号　特定非営利活動法人(NPO)日本セラプレイ協会
Copyright © The Theraplay® Institute All Rights Reserved.（セラプレイ国際本部　1840 Oak Ave., Suite 320, Evanston, IL 60201）

第7期　定例総会報告　　（参加者　15名　委任状提出者10名）

2021年8月1日（日）20：00～20:20　オンライン

1）日本セラプレイ協会 第7期　事業報告と決算報告

2）日本セラプレイ協会 第8期　事業計画と活動予算

全員異議無く承認を得ました。

☆　詳細は、HPの貸借対照表をご覧ください。

☆　第8期は新たな下記メンバーで協会の維持・運営に努めます。

代表理事　　：高井美和
顧問　　：クリニック川畑　精神科医　川畑友二
アドバイザー：山竹伸一
理事　　：土井信子、山﨑香絵、渡辺紘子
監事　　：大野佳代

第8期　日本セラプレイ協会　会員の皆様へ

会員の更新のご継続 又 新規ご入会　ありがとうございます。今期は 会員25 名の皆様でスタートを切りました。今年度も何卒よろしくお願いいたします。

寄付金・寄贈の御礼　　2021年8月31日現在

・寄付金　　会員

廣岡逸樹様　森乃理子様　　伊藤妙子様　吉田瑞希様

山田敬子様　小出真起子様　川上真樹様　土井信子様

他2名　　順不同

・寄付金　非会員　　秋山保美様

・書籍の寄付　福田様　児童書等のご寄付を頂きました。

第8期　NPO法人　日本セラプレイ協会　会員・賛助会員・寄付金募集

＜協会の目標＞当協会は、環境による関係性構築の困難さが加速する今の日本で、言葉にならない声に耳を傾け、社会の中でともに生きる同じ人間として支えあえる支援 を形にして行く事を目指しています。会員同士信頼し互いに進歩・向上できる安心できる場である事を目指します。

当協会は代表、理事全てが完全なるボランティアで成り立っております。協会の趣旨にご賛同いただいた方からの会員費、また寄付などによって養護施設への支援活動や協会運営が支えられております。活動にご賛同頂ける方は、下記の通りご入会下さい。なお、会員としてご登録頂かなくとも、寄付金をもってご支援頂くことも可能です。

A　一般会員：年会費　10,000円　（議決権あり・訓練生）

B　賛助会員：年会費　　5,000円　　（議決権なし）

★会員特典：

月に１度の「だいすきをつなげるオンラインサロン」に無料でご参加いただけます。

★入会がまだの方で協会の趣旨にご賛同いただける方は下記ご確認の上ご連絡ください。

【会員お申し込み方法　下記内容を**Eメール:　info@theraplay.or.jp**でご送信ください。】

① 会員の種類（一般会員or賛助会員）
② お名前（フリガナ）
③ ご連絡先　メールアドレス(必須) / 住所 及び 電話番号(任意)
④ 所属（職種）
⑤ 会員申請理由　(協会に対する要望や期待・ご意見など)

【　会費・寄付金などのお振込先　】
みずほ銀行　北沢支店（店番号213）
普通預金　口座番号：1337615
特定非営利活動法人日本セラプレイ協会
トクヒ）ニホンセラプレイキョウカイ

＜会員更新手続き＞

更新の意思を協会お伝えいただきご送金が必要となります。内容の変更が必要な場合はその旨お伝えください。
入金確認後会員更新完了となります。訓練生としての協会参加をご希望の方は一般会員となります。
お手数ですがよろしくお願いいたします。

日本セラプレイ協会・セラプレイカウンセリング センター東京　の　紹介・リーフレットが必要な方はメールでお申し出ください。

セラプレイは、米国及び日本で商標登録を取得しています。商標登録番号　5580504号　特定非営利活動法人(NPO)日本セラプレイ協会
Copyright © The Theraplay® Institute All Rights Reserved.（セラプレイ国際本部　1840 Oak Ave., Suite 320, Evanston, IL 60201）